



おひざのうえで

(副園長の子育ておうえん通信)

「豊かな環境」



Senrihijiri kindergarten

せんりひじり幼稚園
副園長 安達かえで

「豊かな環境」というと何を思い浮かべるでしょうか。

森や木の実などの自然を思い浮かべる人が多いと思いますが、子どもを取り巻く物すべてを環境というなら、保育者や家族も環境の一つですし、子どもの身の回りにあるモノも環境の一つです。子どもは自分の身の回りにあるモノを自分の生活の中に取り込んで、生活しています。

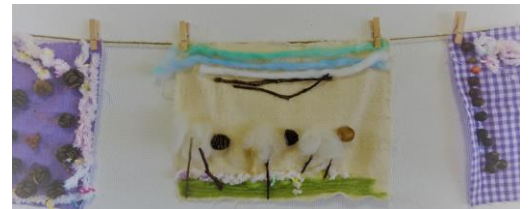
たくさんの素材やモノがあれば、その中から自分の作りたいものを豊かにイメージすることが出来ます。子どもがイメージを膨らませて自分で材料を選べるように、私たちはできるだけ様々なものを用意してあげたいですね。（保護者の皆様には廃材のご協力ありがとうございます。）



先日、先生たちが木の実や枝やはっぱを集めに公園や森に行ってきました。袋に一杯入れて、サンタクロースのように袋をかついで帰ってくる先生たちは、目がキラキラしています。先日の大型台風のお陰で木の実や枝がたくさん落ちていましたよね。自然が作り出す形はどうしてこんなに面白く美しいのでしょうか。そんな木の実を使って、保育室では製作真っ盛りです。こんなものができるのかとびっくりするぐらい・・・。素材を用意する保育者のセンスも光ります！

無から有は生まれないと言いますが、幼少期の経験や記憶が、大人になってから回路がつながってスイッチが入る現象を、ニッチピッキングというそうです。

幼少期の経験や目にしたものや使ったものが少ないと、大人になってから入るスイッチがないということになるかもしれません。今の環境が、大人になってからの生き方の左右すると思うと、出来るだけ豊かな環境を用意したり、自分で選べる豊かなモノやコトに出会う機会を作ってあげたいですね。



(おひぎのうえで11月号) ご意見や感想があれば是非お書き下さい

(組) ()